

仙台画像検診クリニック広報誌

2020
vol. 10

みっくらぶ

「みっくらぶ」とは、Medical Imaging ClinicとCLUBを合わせたものです。



作品名 「富士山と龍」

画家 ウエノイチロー

宮城県仙台市出身 1955年生まれ

日本の象徴とも言える縁起物「富士山と龍」をパワーアートとして世に送り出している。

仙台市内 青葉区栗生と定禅寺通りに専用ギャラリーがある。

公式HP <http://uenoichiro.com>

Cover
Artist



院長ごあいさつ

12年間の 画像検診結果のご報告

当院は、2007年8月に開院いたしました。おかげさまで、以来12年間診療を続けることができました。

当院の名称は仙台画像検診クリニックですが、なぜそのようにしたかをお話します。医療においてX線の利用は不可欠ですが、単なるX線写真は、人体を通過したX線をフィルムに焼き付け、その2次元的濃淡から人体の3次元的構造を推測して病気の有無を判断するものでした。診断結果には、技師さんの撮影技術と医師の知識と経験が大きく影響いたします。したがって、A病院とB病院の診断が一致しないこともあります。

この状態を画期的に変えたのは、X線CTの登場です。CTにより2次元画像から3次元を想像する必要はなくなり、診断精度は飛躍的に向上したのです。続いて、MRIとPETが登場しました。

MRIは体内の水分量ばかりでなく、タンパクなどの高分子と水分子の結合状態を画像化します。体内のどこかに水分が検出されたとき、その水がさらさらした水か、粘液か、血液か、またはがんのように細胞がいっぱい詰まっている状態なのかを教えてくれます。

PETは人体各所のエネルギー消費程度を画像化し、その組織が冬眠のような状態なのか、代謝が活発なのかを教えてくれます。がんの殆どは代謝が盛んなので、PETで見えてくるのです。

過去の医療画像をアナログ2次元画像としますと、現在のものはデジタル3次元画像です。MRIとPETは、3次元画像に加え機能情報を持っていますので、デジタル4次元画像です。当院は、このデジタル4次元画像を柱とする医療を構築しようと設立されました。名称を画像検診とするか画像健診とするかを迷いましたが、健康診断ばかりではなく、診療に役立つ検査施設としても機能しようと、画像検診クリニックという名称を選択しました。

12年が経過し、振り返ってみると、当院検診を受診いただいた方は35,500人に達していました(2019年10月末現在)。その方々のうち、当院ががん発見にお役に立

PROFILE

いとう まさとし 伊藤 正敏

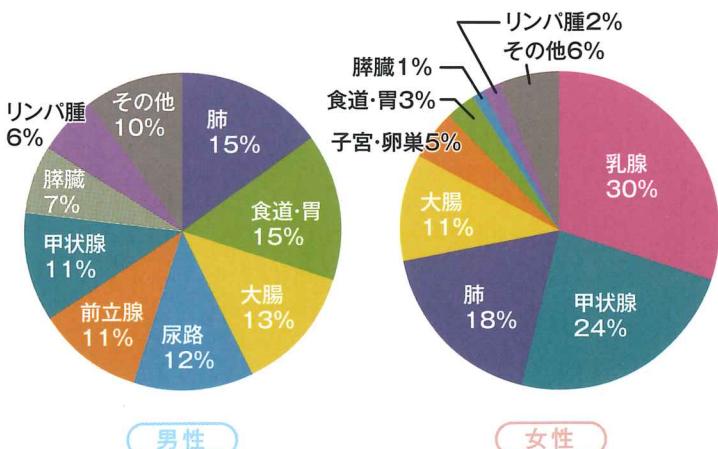


仙台画像検診クリニック院長
医学博士
日本核医学会核医学専門医
1973年 信州大学医学部医学科卒業
1979年 英国ハンマスミス病院
サイクロトロン部門客員研究員
1994年 東北大学サイクロトロン
・RIセンター核医学研究部教授
2007年より現職、東北大学名誉教授

てた方は261人。比率にして0.78%でした。国立がん研究センターが集計した日本人のがん罹患率は、2015年集計で10万人当たり701人、つまり0.70%でした。

がん罹患率の集計は大変難しく、各県の全医療機関ががんと最終診断した時点で所定の形式で報告することで、初めて集計できるという頭が下がる作業の結果です。健診のがん発見率は、がん罹患率を原理的に超えることはできないはずですので、当院のがん発見率とがん罹患率がほぼ等しいということは、罹患されたすべてのがんを発見したとも考えられますが、それは、発見率とがん罹患率を集計した母集団の年齢構成と男女比率が、がん集計と当院検診において等しいときに言及できることで、単純ではありません。例えば、国立がん研究センター集計は日本人全年齢層を対象としていますが、当院検診受診者は40歳以上がほとんどです。そこで国立がん研究センターデータを使用して40~79歳でのがん罹患率を計算しますと、およそ0.95%となりますので、当院検診でのがん発見は全罹患のおよそ82%と推測されます。

図1 仙台画像検診クリニックにおける
部位別がん発見割合(2007-2019年)



当院検診で発見された部位別割合を見てみると図1のようになります。男性では、肺、上部消化管、下部消化管、尿路、前立腺、甲状腺の順となり、比較的均等に分布していますが、女性では、乳腺、甲状腺が5割以上を占め、次に肺、下部消化管、子宮・卵巣と続きます。この部位別割合を、全国集計で報告されている部位別がん罹患割合と照合した場合に差異が認められますので、画像検診にバイアス（得意・不得意）があることが見てとれます。特に女性では、男性に比べ上部消化管悪性腫瘍の発見数が極端に少なくなっています。日本人のがん罹患率集計では、胃がんが女性でも3位になっていますので、消化管がんが画像検診の弱点であることがわかります。

また当院検診の特徴としては、甲状腺がんの発見率が非常に高いことが挙げられます。がん統計では、甲状腺がん罹患率は、女性で全がんのわずか2%ですが、当院では24%です。これは、画像検診が甲状腺がん早期発見をしていることを示唆するものですが、甲状腺がんはゆっくり大きくなることが多く、早期発見の意義については未確定です。ただし、甲状腺がんが大きくなると声帯を動かす神経に影響する所以ありますので、早期手術の価値はあると思われます。

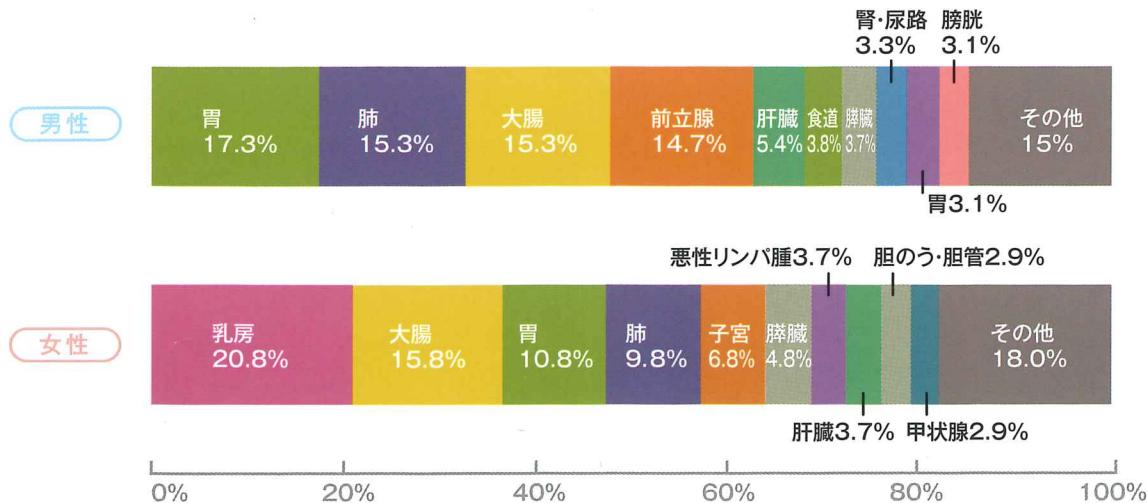
その他、膵臓がんは早期発見が難しく、転移も早い怖いがんです。がん罹患統計では、膵臓がんの比率は男性で約4%ですが、当院検診では7%と良好な数値

です。少数ではありますが、1cm程度で発見できた方もございます。経験からですが、膵臓がんの発見には、PET/CTに超音波検査を併用することをお勧めします。体格の良い方は、MRIもおすすめします。膵臓内の微細構造評価とPET代謝診断の組み合わせが、より安全と思われます。

PET/CTがん検診のアイデアは、私の師匠である東北大学抗酸菌病研究所（現加齢研）松澤大樹教授が発案し、世界最初のPET/CT検診施設が富士山麓に設立されました。私も協力しています。肺がんのCT検診も日本で開始されました。私の記憶では、信州大学曾根侑輔教授が最初です。CT肺がん検診はアメリカでも認知され、胸部X線検診の意義はほとんどないとまで言われています。当院結果でも肺がん発見率は良好で、特に女性では全がんの20%を占めています。これは、女性に多い肺野型肺がんの検出にCTが優れていることによると思われます。早期肺がんでは胸腔鏡下手術が可能ですので、ぜひ早期発見を目指していただきたく存じます。

最後に、今回集計の反省として、集計が完全ではなかったことに気づきました。例えば、検診結果で精密検査をおすすめし、その方がかかりつけの先生に相談されて、しかるべき病院をご自分で受診された場合、当院が結果を知ることができなかった可能性がございます。病気が発見された場合、病気がなかった場合も、お電話やメールで、ぜひお知らせいただきたく存じます。

図2 部位別がん罹患割合（2014年）※地域がん登録全国合計によるがん罹患データ参照



内科・専門外来より

理念

患者様が医療の中心であるとの基本理念をもとに、最新の医学情報を診療に取り入れ、最適で最良かつ安全な医療を提供いたします。医療においては信頼関係が大切であり、丁寧な診察と、病気や治療法をわかり易く説明することを心がけています。

診療案内

内科全般を担当しますが、とくに手足の関節が腫れ、複数の臓器に炎症がおこるリウマチ性疾患(関節リウマチや膠原病)の診療に重点をおいています。2017年2月に内科が新設されて以来、患者様に安心で最新、最良の医療を提供できるよう努力してきました。今後も丁寧な診療を心がけて参りますので、どうぞお気軽に来院ください。

PROFILE

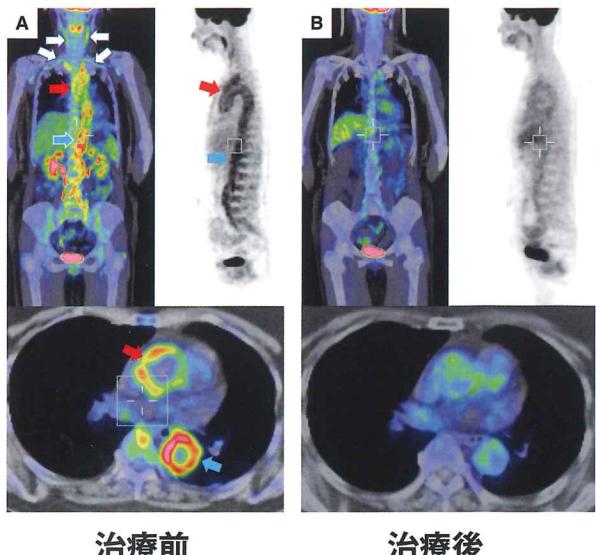
さとう ゆきお
佐藤 由紀夫

30年以上にわたりリウマチ・膠原病、アレルギー、消化器疾患の診療、教育、研究に従事し、複数の学会専門医・指導医の資格を取得しました。クリニックの診療だけではなく、研究機関での研究も継続することで、最先端の医学(とくに免疫学)を理解し、その知識を診療に反映させたいと願っています。

[資格]日本内科学会認定医・専門医、日本リウマチ学会専門医・指導医、日本アレルギー学会専門医・指導医、日本消化器内視鏡学会専門医・指導医、日本消化器病学会専門医、日本リウマチ財団登録医、平成6年度日本リウマチ財団米国派遣研修医、東北大学非常勤講師



図 1



(シュプリンガー社2020年発刊の「炎症性疾患とPET/CT」の教科書に掲載)

関節リウマチと膠原病について

関節リウマチと膠原病は、女性に多く発症する難治性慢性炎症疾患であり、炎症は関節だけでなく肺や腎臓、皮膚など複数の臓器や組織におこります。発症の原因として免疫の異常があります。免疫はもともとウイルスや細菌などの外敵から身体を守る生体防御反応であり、血液を流れる白血球がその役割を担っています。その白血球が反乱をおこして悪い免疫となって身体のいろいろな場所を攻撃し、複数の臓器に炎症をおこすことで発症します。

治療には、炎症を抑えるだけでなく、悪い免疫を抑える治療(免疫抑制療法)も必要となるのですが、抑制が強すぎると外敵(ウイルスなど)から守ってくれる「良い免疫」まで抑えてしまい、さまざまな感染症に罹りやすくなってしまうことがあります。よって、良い免疫を保ちながら、いかに悪い免疫を抑えることができるかが治療の肝となります。

診療の特色

1 当クリニック検診部門が培ってきた高度な画像診断能力を内科診療に取り入れることで、早期に診断し治療することが可能です。PET/CT検査はがんだけなく、炎症部位を鋭敏に検出できることから、炎症性疾患である膠原病の早期診断に有用です。PET/CT検査で診断された「高安動脈炎」の画像(図1)を提示します。大動脈壁がFDG(検査薬)で光っており(矢印)、大動脈炎と容易に診断できます。MRI検査は関節リウマチの早期診断に有用で、通常のレントゲン写真では映らない早期の関節病変を見ることができます(図2)、早期診断・治療に役立っています。

2 内科外来では、世界標準の診断基準や治療ガイドラインをもとに、専門医としての経験を生かしながら、患者様一人ひとりに適した安全で最良の医療を提供できるよう努力しています。当科で行っている最新の治療として、関節リウマチに対する生物学的製剤や分子標的薬の投与、スギ花粉症やアレルギー性鼻炎の根治療法となる舌下免疫療法(スギ、ダニ)があります。

図 2





上部消化管内視鏡検査

胃カメラ

リニューアルのご案内

この度、当クリニック設置の内視鏡装置の入替をしました。
2019年7月8日からは新しい内視鏡システムを導入し、
検査を行っております。

当院の内視鏡検査の特色

まずははじめに「上部消化管内視鏡検査」とは、先端にCCDカメラのついたファイバースコープを口あるいは鼻から体内に挿入し、医師が高解像度のカラーモニターを見ながらこのスコープを直接操作し、食道、胃、十二指腸を観察する検査となります。

この検査では、潰瘍(食道潰瘍、胃潰瘍、十二指腸潰瘍)、炎症(逆流性食道炎、胃炎)、ポリープ、腫瘍(食道がん、胃がん)などが診断できます。必要に応じ、がん細胞の有無を確認するための生検(組織検査)を行うこともできます。



特色
1

極細径スコープ

今回の入替では、先端外径5.8mmの極細径スコープを導入しました。食道の入り口を通過することで喉のあたりに違和感が生じるのですが、以前のもの(9.2mm)と比較して、この違和感はかなり少なくなっていると思います。先端の素材も以前のものより柔らかいものとなっています。

特色
2

麻酔不使用

当院では、鎮静剤や静脉麻酔を使用せずに検査を行います。そのため前処置からの検査時間が20分弱で済む上、検査後すぐにお帰りいただくことができます(次の検査にもすぐにに入ることができます)。また嗜眠、昏迷などの副作用の心配が少なく、胃透視のように放射線の影響を受けることもありません。

特色
3

特殊光観察

新しい内視鏡システムでは、ハイビジョン、特殊光を用いてより詳細な観察を行うことができます。特殊光観察では、発行強度比を変えることで、3つの観察タイプ(白色光、LCI、BL)を切り替えられます。目的に適した観察タイプを使い分けることで、小さな病変も見落とさず診断することができます。この事はがんの早期発見にも繋がります。

仙台画像検診 クリニックの こだわり

こだわり
1

【 PET-CT検査を軸に、さまざまな検査コースを提供 】

ほぼ全身のがんを一度に 調べることができるPET-CT検査

仙台画像検診クリニックは、「PET-CT検査」を軸としたさまざまな検査コースをご用意しています。PET-CT検査とは、がん細胞が糖を集積する性質を利用してがん細胞の位置を特定する「PET検査」と、体内的断層撮影を行うことができる「CT検査」を組み合わせたものです。ブドウ糖を注射して1時間ほどしてから撮影を行うことで、糖の代謝が活発ながんを中心とする組織が光って見えるため、ほぼ全身のがんを一度に調べることができます。

当院では、40歳を目安に全身を対象としたがん検診を推奨しており、PET-CT検査についても40歳以降の方におすすめしています。

人間ドックやMRI検査、 腫瘍マーカーとの組み合わせも

当院では、PET-CT検査との組み合わせとして、「人間ドック」や「MRI検査」、「腫瘍マーカー」なども実施しています。PET-CT検査にこれらの検査を組み合わせることで、がんをはじめとした各種疾患をより多角的に調べることができます。

たとえばMRI検査は、磁場の中に体を入れ、そこにRFという電磁波をかけ、そこから出てくるエネルギーを分析して画像化する検査です。肺や骨を除けば人体の解剖学的構造を表すのに非常に有用であり、かつ被曝もない検査方法です。一方でMRI検査は、がんと正常組織の差を確認するのが難しいため、PET-CT検査との組み合わせが有効だと考えています。

こだわり
2

【 伊藤院長自ら「乳房用PET装置(PEM)」の研究・開発に携わる 】

微小な乳がんの発見にも役立つ 乳房用PET装置(PEM)

仙台画像検診クリニックは、「プレミアムレディースコース(乳がんPEM検査付き)」を検査コースに設定しています。当院の伊藤院長は、「乳房用PET装置(PEM)」の研究・開発に携わっています。

PEMというのは乳腺に特化したPET装置で、従来のPET-CT検査では検出が難しかった4~5mmの乳がんを検出することができます。さらに、乳がんが乳腺の中で広がっていく、乳管に沿って広がっていくところを画像化して見ることができます。将来的には、乳がんの温存手術をする場合の範囲決定にも役に立つだろうと考えています。

早期発見が重要視される 乳がんの検査にPEM検査を推奨

乳がんの検査を実施しているなかで、残念ながらかなり進行してから当院を訪れる方もいらっしゃいます。乳がんは早期に発見すればその後の人生への影響を抑えることができ、乳房を全部取らなくてもよいケースもあるので、ぜひ早期発見したい疾患です。とくに若い人は、乳腺組織が厚いために触ってもわからない、場合によってはマンモグラフィでも写ってこないことがあります。そのような厚い乳腺の人には超音波検査とPEM検査が非常に有用だと考えています。

当院では女性技師がマンモグラフィや超音波検査、そしてPEM検査を実施しています。また、PEM検査はシャツを1枚着た状態でも撮影可能なので、リラックスしてご受診いただけます。

仙台画像検診クリニックのおもな設備

PET / CT 2台

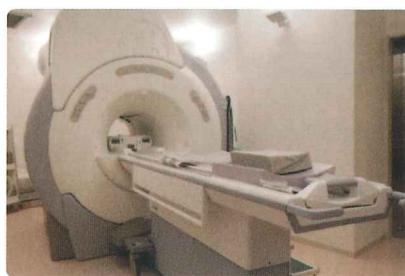


PETとCTを一度に撮影できる装置です。PETによる機能画像撮影とX線を使った断層撮影をあわせることで、がんを含む全身の

活動性病変を一度に描出します。当院ではMコースを除く全てのコースで使用しています。

(シーメンス社製)

MRI



(GE社製)

MRIとは、磁気共鳴画像装置のことです。磁場と電波を利用して体内の画像を得るものです。当院ではD・Pコース、脳検診に使用しています。

PEM(PEMGRAPH)



乳房専用のPET装置です。従来のPET検査では発見の難しかった5mm大の乳がんを描出できる解像力を実現。P3コースのほか、オプションとしても受診いただけます。



(古河シンチテック社製)

内視鏡(上部・下部)



上部(胃・十二指腸)下部(大腸)の内視鏡です。当院では全てのコースでオプションとなっております。実施できる日が限られておりますので予約時にご確認下さい。

(富士フィルム社製)

X線マンモグラフィ



乳房X線撮影装置です。圧迫板で挟み、薄く伸ばして撮影することで、触診では発見の難しかったしこりなども、診断することができます。全てのPコースのほか、オプションとしても受診いただけます。

(キャノンメディカルシステムズ社製)

超音波診断装置(エコー)



超音波を使って主に内臓の様子を画像化する装置です。当院では、Aコースを除く全てのコースで腹部・骨盤の検査に用いるほか、コースにより甲状腺・乳腺などの検査も行います。

(キャノンメディカルシステムズ社製)



1F/ロビー



2F/特別待合室(個室)

待合室

落ち着いた雰囲気でリラックスして受診いただけます。

事前のご予約

お電話かFAX、またはインターネット予約にてお申し込み下さい。

1 食事の制限

受診前日の夜9時以降は食事を控えて下さい
(Aコースのみ検査前5時間絶食)。

なお、水や日本茶はお飲みになって構いませんが、糖分の入った飲料は飲まないで下さい。



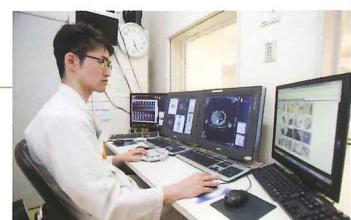
2 受付・問診

内容のご説明をいたします。その後、問診をおこないます。問診が済みましたら、検査着に着替えて下さい。



3 注射・安静

「くすり(FDG)」を静脈注射します。注射後、約60分休憩室で安静にしていただきます。
案内がありましたらお水を飲んで下さい。



4 排尿

体内に余分な「くすり」を残さないよう、撮影直前に排尿します。



5 撮影

PET/CTで撮影します。
撮影には約30分かかります。

6 休憩 [待機]

撮影した画像をチェックする間、別室で約15分待機していただきます。

7 終了

軽食を用意しております。食事が済みましたらお帰り下さい。

検査結果

3週間程度でご希望場所へ受診者様名義にて郵送いたします。
※P1コースを除き、受診当日の結果説明は行っておりません。

■面談による結果説明をご希望される方は、ご予約の上、
後日面談とさせていただきます。

受診される際のご注意

受診前日

食事は通常通りお摂りいただけますが、飲酒はお控え下さい。受診前日や当日の激しい運動は避けて下さい。

受診当日

受診前

お水・日本茶などの飲み物は飲めますが、それ以外の食べ物は飲食しないようにして下さい。糖分の入ったものや乳製品をお飲みになると、検査に使用する「くすり」の性質上、正確な検査ができなくなります。(特にスポーツ飲料や栄養ドリンク、ジュース、牛乳、果物など糖分を含む物を飲んだり食べたりしないようにご注意下さい)

受診後

PET検査受診後、当日は妊産婦や乳幼児との緊密な接触を控えるようにして下さい。

完全
予約制

コース料金のご案内

自由診療

《完全予約制》土・日・祝日も選択いただけます。
希望日の2週間前～2ヶ月前にお申し込み下さい。

検査コース	検査時間	料金
A コース PET/CT検診 PET/CT(体幹部のみ) ※ペプシノーゲン検査は行いません。	約3時間	77,000円 [税抜 70,000円]
B コース PET/CT人間ドック PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)	約3.5時間	88,000円 [税抜 80,000円]
C コース PET/CTがん検診 PET/CT(脳・体幹部)、超音波エコー(腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約3.5時間	105,050円 [税抜 95,500円]
D コース PET/CT・MRI検診 PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種	約5時間	154,550円 [税抜 140,500円]
P1 コース プレミアムコース 当日結果説明つき PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●当日結果説明(1日2名限定)	約6.5時間	198,000円 [税抜 180,000円]
P2 コース プレミアムコース 免疫力判定検査つき PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●免疫力判定検査(基本コース) ※差額追加(+15,000円+税)で安心コースへの変更も可能です。	約6時間	187,000円 [税抜 170,000円]
P3 コース プレミアムコース PEMつき 女性のみ PET/CT(脳・体幹部)、MRI(腹部)、超音波エコー(頸部・腹部・骨盤)、腫瘍マーカー10種 ●PEMつき	約6.5時間	198,000円 [税抜 180,000円]
M コース MRI人間ドック 体幹部MRIを中心とした人間ドックコースです。胃カメラはオプションです。 ※PET検査は含まれません。	約2時間	55,000円 [税抜 50,000円]

※ご注意/いずれのコースも内視鏡・子宫頸がん検査はオプションとなります。詳細は別表をご覧ください。

※当日終了後の結果説明はP1プレミアムコース(当日結果説明つき)のみです。他のコースでのオプション設定はありません。

※P2コースは、土曜日受診不可。

※上記、コース料金表は2020年3月現在のものです。

各コース・検査項目の詳細

※検査項目および検査料金は予告なく変更する場合があります。
詳しくはお問い合わせ下さい。

2020年3月現在

検査コース	Aコース	Bコース	Cコース	Dコース	P1コース	P2コース	P3コース	Mコース
	PET/CT 検診	PET/CT 人間 ドック	PET/CT がん 検診	PET/CT ・MRI 検診	当日 結果説明 付き	免疫力 判定検査 付き	PEM 付き ※女性のみ	MRI 人間 ドック
検査時間の目安	約3時間	約3.5時間	約3.5時間	約5時間	約6.5時間	約6時間	約6.5時間	約2時間
検査内容	料金 税込(税抜)・単位／円	77,000 (70,000)	88,000 (80,000)	105,050 (95,500)	154,550 (140,500)	198,000 (180,000)	187,000 (170,000)	198,000 (180,000)

基本検査	身長、体重、血圧、腹囲	●(腹囲を除く)	●	●	●	●	●	●
問診・診察		●	●	●	●	●	●	●
PET/CT	脳		●	●	●	●	●	●
	体幹部	●	●	●	●	●	●	●
PEM <small>女性のみ</small>							●	
胸部X線								●
MRI	脳				●	●	●	●
	脳定量コンピュータ解析(VSRAD)				●	●	●	●
	体幹部				●	●	●	●
心電図		●			●	●	●	●
眼科・耳鼻科検診	眼底検査、眼圧検査、視力、聴力検査	●			●	●	●	●
超音波検査	頸動脈				●	●	●	●
	甲状腺				●	●	●	●
	乳腺 <small>女性のみ</small>			●	●	●	●	●
	腹部、骨盤	●	●	●	●	●	●	●
マンモグラフィー <small>女性のみ</small>					●	●	●	●
腫瘍マーカー	※詳細は別表をご覧ください。			●	●	●	●	●
尿検査	糖、蛋白、潜血	●	●	●	●	●	●	●
血液一般検査	白血球数、赤血球数、血色素量、ヘマトクリット、血小板数、血液像	●	●	●	●	●	●	●
生化学検査	総コレステロール、中性脂肪、HDL、LDL、GOT、GPT、γ-GTP、ALP、尿酸、クレアチニン、尿素窒素、総ビリルビン、血清アミラーゼ、LDH、総蛋白、蛋白分画、血清鉄、HbA1c、CRP定量、アルブミン、A/G		●	●	●	●	●	●
	血糖		●	●	●	●	●	●
肝炎ウイルス検査	HBs抗原、HCV抗体	●	●	●	●	●	●	●
ペプシノーゲン		●	●	●	●	●	●	●
ピロリ菌検査			●	●	●	●	●	●
便潜血検査(2日法)		●	●	●	●	●	●	●
喀痰細胞診			●	●	●	●	●	●
動脈硬化度測定	大動脈石灰化度測定 冠動脈石灰化度測定 動脈硬化指数			●	●	●	●	●
メタボリックシンドローム判定		●	●	●	●	●	●	●
身体年齢測定	骨密度			●	●	●	●	●
ストレス度測定	問診 唾液アミラーゼ			●	●	●	●	●
免疫力判定検査	基本コース 安心コース(木・日限定)					●	+16,500	
結果説明	当日終了後 後日(要予約)	●	●	●	●	●	●	●

プレミアム **P1** コース 当日結果説明付き
コース内容 **P2** コース 免疫力判定検査付き<土曜除く>※オプション(15000円+税)でより詳細に免疫力判定を受けることができます。
…基本コースから安心コースにアップグレード<木曜・日曜限定>

P3 コース 乳腺専用PET(PEM)のほか、マンモグラフィー、超音波の複合診断によって乳がんを含む乳腺疾患をくまなくチェックします。<女性専用>そのほか、オプションで婦人科/子宫頸がん検診(7000円+税)もお勧めです。

オプション検査

- 脳検診を除き、単体での受診はできません。
- 各コース検診と同じ日に受診できない場合があります。詳しくはお問い合わせ下さい。

2020年3月現在

レディースオプション - 女性の方へ

検査項目	内容	検査料金 税込(税抜)・単位/円
マンモグラフィー検査	X線によるマンモグラフィー検査	6,050 (5,500)
乳腺超音波検査	乳腺のエコー検査	4,400 (4,000)
乳腺専用PET(PEM) (乳腺超音波検査を含む) 女性のみ	乳腺専用の高解像度PET機(PEM)と乳腺超音波検査を併用して、乳腺をより詳細にチェック ※PET/CTを受診される方のみのオプション	38,500(35,000) [初回20%引き] 30,800 (28,000)
婦人科検診 ※外部提携施設での検査となります。	子宮頸がん検診(超音波・細胞診) ヒトパピローマウイルス検査	7,700 (7,000) 5,830 (5,300)

脳検診・もの忘れ検査 - 脳のチェックをしっかり行いたい方へ

検査項目	内容	検査料金 税込(税抜)・単位/円
脳検診 (頭部MRI検査)	脳MRI・MRA 脳の形態と血管画像で、脳の変化を検査 ※脳検診のみ受診することもできます。	22,000(20,000)
頸部MRA・超音波検査	頸部MRA、頸動脈・甲状腺超音波検査 ※脳検診を受診される方専用オプション	13,200(12,000)
もの忘れ脳検査	脳MRI・MRA・VSRAD・神経心理学検査、脳画像と統計解析、神経心理学的検査を組み合わせて総合的にMCIのスクリーニング	33,000(30,000)

血液成分分析による専門検査

※詳細については専用のパンフレットをご請求下さい。

検査項目	内容	検査料金 税込(税抜)・単位/円
免疫力判定検査 がん細胞から身を守る免疫力を総合的に評価する検査	基本コース 安心コース(基本コース+T細胞増殖能検査)	18,700 (17,000) 35,200(32,000)
アミノインデックス検査 血液中のアミノ酸を分析して、部位ごとのがん罹患の将来的リスクを検査	男性5種(胃・肺・大腸・前立腺・脾臓) 女性6種(胃・肺・大腸・乳腺・子宮/卵巣・脾臓)	27,500(25,000) 27,500(25,000)

内視鏡検査・一般検査

※一部コースに含まれている項目があります。別表(各コース・検査項目の詳細)をご確認下さい。

検査項目	内容	検査料金 税込(税抜)・単位/円
上部消化管内視鏡(水土日限定)	食道・胃・十二指腸の内視鏡検査	11,550 (10,500)
大腸内視鏡(月水限定) ※外部提携施設での検査となります。	肛門・直腸・結腸の内視鏡検査	24,200(22,000)
肺機能検査	spirometry検査	3,300 (3,000)
ピロリ菌検査	血液抗体検査	3,300 (3,000)
腫瘍マーカー	10種 ※下記の表をご参照ください。	13,200(12,000)
超音波(頸動脈・甲状腺)	頸動脈・甲状腺のエコー検査	8,800 (8,000)

腫瘍マーカーの内訳

腫瘍マーカー検査とは
がんができることによって発生する特殊な物質が血液中で増えているかどうかを測り、早期がんをスクリーニングする検査です。但し、がんであっても増えなかったり、がん以外の病気でも増えることもあるから、画像検診と組み合わせて総合的に判断します

腫瘍マーカー検査項目	10種		主な対象疾患
	男性	女性	
AFP	●	●	脾臓がんなど
CEA	●	●	悪性腫瘍全般(特に胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍、及び甲状腺がん、肺がん、乳がんなど)
SCC	●	●	子宮頸がん、肺がん、食道がん、頭頸部がんなど
CA19-9	●	●	各種線がん(特に脾臓がん、胆道がん、胃がん、大腸がんなど消化器系腫瘍)
エラスター	●	●	脾臓がん及び脾疾患など
NMP22	●	●	膀胱がん、腎孟尿管がんなど
SLX	●	●	肺がん、消化器がん、乳がん、卵巣がんなど線がんを主とした広範囲がん
NSE	●	●	神経内分泌腫瘍、小細胞性肺がんなど
P53対抗	●	●	食道がん、大腸がん、乳がんなど
PSA	●	/	前立腺がん及び前立腺疾患など
CA125	/	●	卵巣がんなど

お知らせ

特別会員割引制度

がん罹患歴のある方に限り、事前にご登録いただくと

C・D・プレミアムの各コース

10%割引



(A・B・Mコース、オプションを除く)

入会を希望される方は、当クリニックの窓口または郵便・宅配便で受け付けます。詳しくはお問い合わせください。

継続利用(リピーター)割引

各コース受診後、2年以内に再度受診いただくと

全てのコースが対象

5%割引

(オプション料金を除く)

※他割引との重複はできません。

アクセス



地下鉄

仙台市営地下鉄「五橋駅」下車、南1番出口より、道路向かい側すぐ。

JR

JR仙台駅西口より五橋方面へ徒歩約15分。

駐車場ご利用について

当院専用の駐車場は道路向かい側にございますが、区画が大変狭くなっています。大型の車両でお越しの方は、近隣の有料駐車場をご利用下さい。検査時間に該当する駐車料金は当院にて負担いたします。

お申し込み・お問合わせ

《完全予約制》土・日・祝日も選択いただけます。

お電話から

0120-865-750

電話受付 8:45~17:15 (土・日・祝休み)

※休日専用回線 022-211-9877 (お問い合わせのみ)

インターネットから

<http://www.micjapan.or.jp>

 仙台画像検診クリニック
Sendai Medical Imaging Clinic

〒980-0022仙台市青葉区五橋2丁目1番25号
診療時間 / 8:30~18:00 休診日 / 月曜日

